情　報　公　開　文　書

研究の名称	単孔式 vs 4-port完全胸腔鏡下肺葉切除術・肺区域切除術：COPD Assessment Testを用いた術後自覚症状推移の比較検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人　富山大学
研究責任者	本間崇浩（第一外科）
研究の概要	【研究対象者】 2019 年 10 月 1 日～2020 年 10 月 31 日まで当院で肺葉切除術もしくは肺区域切除術を要した肺腫瘍症例 【研究の目的・意義】 これまで広く普及していた複数のポート（傷）による手術（4-port 完全胸腔鏡下手術）と比し、単孔式手術における疼痛以外の術後自覚症状の優位性を検討すること。 【研究の方法】 診療録から臨床経過、手術所見、血液検査所見、呼吸機能検査所見等の臨床経験を集計し、術後自覚症状を後方視的に検討します。 【研究期間】 承認日から 2021 年 10 月 31 日まで 【研究結果の公表の方法】 国内外の学会への発表、査読制度のある論文への投稿
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	研究用に新たに検査を行うことはありません（必要な検査は全て臨床判断に基づき施行します）。患者様の情報は匿名化し、個人が特定されないように管理します。また、他機関へ情報を提供することはありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院　第一外科　助教　本間崇浩
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院　第一外科　助教　本間崇浩
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話　076-434-7330 FAX　076-434-5032 E-mail　hommat@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名　富山大学附属病院　第一外科　助教　本間崇浩